

竹田市立南部幼稚園 6月中旬(6月15日~20日)「シャボン玉あそび」

【ねらい】自分なりに考えたり、気づいたことを友達と伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ。

【内容】友だちと一緒に、しゃぼん玉液作りや、しゃぼん玉遊び用の道具作りをして楽しむ。

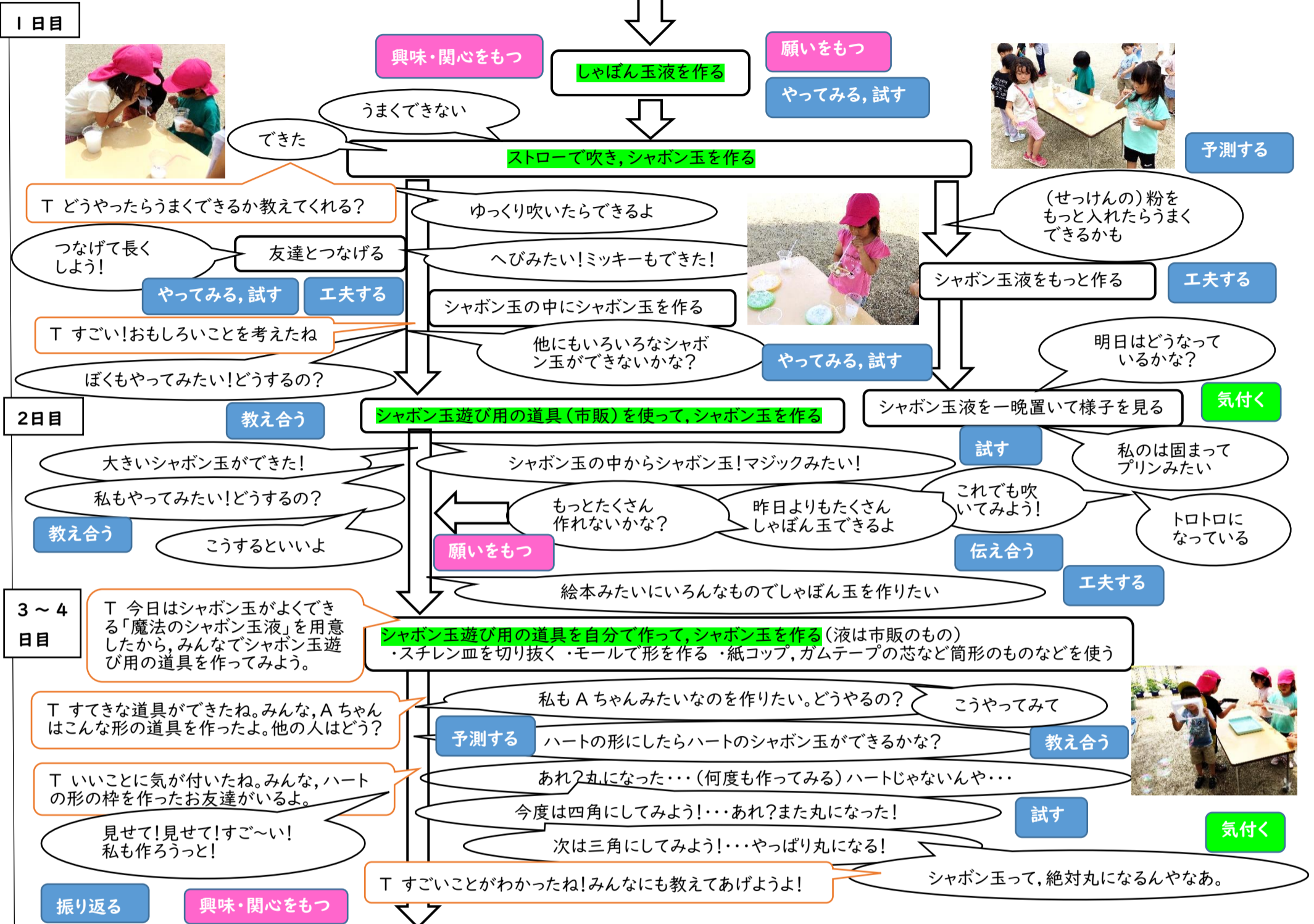
【遊びのプロセス】 *遊びの中で育まれている資質・能力を下のように表している

知識・技能の基礎 知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力等の基礎

学びに向かう力・人間性等

子どもたちは、絵本「しゃぼんだま」を見て、シャボン玉液が自分でも作ることができると知り、「やってみたい」「できるかなあ」と興味をもち、「本当にできるかやってみよう」「わーい!実験!実験!」とシャボン玉作りへの関心を高めていった。



振り返りの場面で、友達の話から枠の形が変わっても、シャボン玉の形は変わらないことを知り、他の子どもたちも枠の形を変えて試す姿が見られた。その後も、自分で考えたり、友達のを参考にしたりしながら自分で作った道具を使い、何度もシャボン玉作りをおこなっていた。また、自分たちで作ったシャボン玉液でも試してみても、「あんまりできないなあ〜。」「ちょっとならできるよ。」「鏡みたいにならないと、シャボン玉はできないからなあ〜。」などと、つぶやく姿も見られた。

<p>□環境の構成・ ◇援助のポイント</p>	<p>□子どもの「やってみたい」という思いが実現できるように、材料や道具(石けん, 砂糖, スチレン皿, モール, 紙コップやガムテープ・トイレットペーパーの芯など様々な大きさの筒状のものなど)の準備, 使いたいときに自分たちで出して遊ぶような配置・遊びの状況に応じたタイミングで素材や道具の提示を行う。</p> <p>◇シャボン玉への興味をもち, 友だちとイメージを共有して楽しめるような経験(シャボン玉の絵本や歌など)を設定する。</p> <p>◇遊びが発展していくように, 子どもの気付きや考えに共感して, まわりに広げていく。</p> <p>◇試行錯誤する楽しさを味わうとともに思いを実現するために「どうしたらいいか」を子どもと一緒に考える。</p> <p>◇共通の目的を意識して遊びを進められるように, 振り返りの場では, 作ったものを紹介したり, 気付きや考えを出し合ったりして, みんなで共有するようにする。</p>
-----------------------------	---

【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】

<p>数量や図形への関心・感覚</p>	<p>思考力の芽生え</p> <p>シャボン玉に不思議さや面白さを感じ, いろいろなシャボン玉を作ってみようという願いをもち, 自分なりに考えたり, 予測したり, 工夫したりしながら, シャボン玉の液作りや道具作りを行っている。繰り返し試す中で, シャボン玉を作る方法やシャボン玉の性質に気付くなど, 科学的思考力が芽生えている。</p>	<p>言葉による伝え合い</p> <p>シャボン玉遊びをする中で, 感じたり考えたりしたことを言葉にする, 自分のわからないことや知りたいことを尋ねる, シャボン玉や道具の作り方を友達に説明するなどして活動が共有されている。自分の気付きや考えを友達に伝えようとする中で, 自分の考えがまとまったり, 深まったりするようになり, 思考力の芽生えも育まれている。</p>	<p>協同性</p>
---------------------	--	--	------------

【小学校以降へつなげる資質・能力】

<p>【知識・技能の基礎】</p> <ul style="list-style-type: none"> 石けんと砂糖を使ったシャボン玉液の作り方が分かる シャボン玉の性質に気づき, 法則性が分かる いろいろな道具を使って, シャボン玉を作る 	<p>【思考力・判断力・表現力等の基礎】</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろなやり方を試したり, 工夫したりする 予想したり比較したりする 友だちの気付きや考えに触れ, 自分の遊びに取り入れる 	<p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 好奇心や探求心をもつ 何度もやってみる うまくいかなくてもあきらめずにする
--	---	---